

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	813	施策	人材育成の推進
管理事業	人事管理事業	所管部局	総務部

1	所管室課	人事室	事業名	職員会館管理事業
事業概要				
職員会館管理				
活動実績				
吹田市職員厚生会に補助金を交付し、職員会館の維持管理を行った。				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額 (千円)	9,799	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ■ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		一般財源の比率 (%)	85.8	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
平成28年度に実施した耐震診断(二次診断)の結果を踏まえると、耐震補強工が必要な状況である。建物の耐震性に問題があることに加え、施設の老朽化により修繕対応が毎年発生しており、管理上負担となっている。3階フロアの空調が故障していること、バリアフリーでないこともあり、利用率は低い状況が続いており、職員の福利厚生を目的とした施設の在り方の検討が必要である。				

2	所管室課	人事室	事業名	職員研修事業
事業概要				
職場内研修、主催研修、外部派遣研修、自主研修				
活動実績				
職場内研修、主催研修、外部派遣研修、自主研修の実施や支援を行った。職場内研修では、各職場に職場研修管理者及び職場研修推進リーダーを置き、OJTや職場内集合研修の充実に努めた。主催研修では、職務職責に応じて、マネジメントやメンタルヘルスなどの能力向上を図る階層別研修や、契約事務や会計事務、人権など職務遂行に必要な目的別研修を実施した。外部派遣研修では、市町村職員中央研修所、全国市町村国際文化研修所、マッセOSAKAなどの外部研修機関や国行政機関などに職員を派遣するとともに、先進都市への派遣も行った。自主研修では、職務に極めて有益な資格取得への支援、行政に関する自主的な研究グループへの支援を行った。				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額 (千円)	14,748	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		一般財源の比率 (%)	94.6	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
人材育成として総合的・計画的に職員の成長支援を行い、職員の能力開発、組織力の強化を進めていくことが重要である。実務における基礎能力の向上を図るとともに、時代の変化や市民ニーズを的確にキャッチし、自ら考え自ら行動できる職員を育成することが必要と考えている。職員一人ひとりが果たすべき役割を自覚し積極的に研修に参加する意識改革や、必要な時に研修に参加できる仕組みづくりを図っていくことが課題と考えている。				
職場内研修参加者数・・・3,376人 主催研修参加者数・・・2,004人 外部派遣研修参加者数・・・302人 自主研修支援数・・・92人 計 5,774人				

3	所管室課	人事室	事業名	職員厚生事業
事業概要				
安全衛生、職員健康管理、更衣ロッカー配付、職員厚生給付、公務災害(見舞金)				
活動実績				
(1)安全衛生 産業医による職員の安全衛生管理等を実施した。 産業医による健康相談 実施件数・・・302件 臨床心理士によるこころの健康相談 実施件数・・・98件 メンタルヘルス研修(疾病予防講習会) 参加人数・・・341人				
(2)厚生事業 職員の福利厚生に関する各種事業を実施した。 更衣ロッカーの配付 新規ロッカー11台購入 カフェテリアプラン 延べ32,067名に補助(1件350円) 職員健康管理支援 人間ドック等の自己負担の1/2を858名に補助(上限5,000円)				
(3)健康診断 職員の疾病の早期発見と健康の保持増進を図るため、定期健康診断をはじめとした各種健康診断を実施した。 定期健康診断受診率・・・96.8% ※定期健康診断代替検診(人間ドック301人等)受診を含む。				
(4)公務災害(見舞金) 支給件数・・・3件				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額 (千円)	87,450	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ■ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		一般財源の比率 (%)	98.8	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
(1)平成23年度から産業医の任用を開始し面接指導等の対応を行っているが、近年メンタル疾患や長時間勤務による職員の健康相談への対応が増加する中、体制の強化が課題である。 (2)更衣ロッカー配付にあたって、女性職員の増加及び本庁舎の狭小化により新たなロッカーの配置場所の確保が課題となっている。 (3)定期健康診断等の受診率は近年上昇傾向にあるものの、当該健診は事業主に実施義務があるため、受診率100%を目指し、引き続き未受診者に受診勧奨をしていく必要がある。				
職員の福利厚生・健康管理に取り組む				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	813	施策	人材育成の推進
管理事業	人事管理事業	所管部局	総務部

4	所管室課	人事室	事業名	人事管理事業
事業概要				
被服貸与、公務災害(補償)、人事システム運用、吹田市適正職務等第三者審査委員会、特別職報酬等審議会(本年度該当なし)				
活動実績				
【制度改定に伴う人事給与システム改修による拡充】				
(1)被服貸与 職員に職種に応じ作業服を貸与した。				
(2)公務災害補償 地方公務員災害補償法に基づく条例等により、会計年度任用職員に対する公務上の災害等についての補償を実施した。 療養補償 4名 休業補償 2名 障害補償 1名				
(3)人事システム運用 保守費 8,265千円 改修費 7,655千円				
(4)吹田市適正職務等第三者審査委員会 開催 1回				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	306,683	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	97.6	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容
		(1)業務の多様化により、事務職への作業服貸与を所屬長から依頼されるケースが増加しており、人事室での一括管理に課題が生じている。 (2)制度改正による運用コストの増加やリスク管理の面から、人事給与システムの更新に向けシステムのクラウド化等の検討が必要。 (3)職員の懲戒処分等において、委員から客観的・専門的な答申を受け、適切に対処できている。		継続
				適切な人事管理に努める。

5	所管室課	人事室	事業名	退職料及び遺族扶助料事業
事業概要				
退職料及び遺族扶助料				
活動実績				
対象者1人に年4回、退職料を支給した。				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	1,133	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容
		対象者が1人ではあるが、年に複数回、一定の事務作業が生じている。		継続
				引き続き適正に支給する。

6	所管室課	法制室	事業名	コンプライアンス推進事業
事業概要				
コンプライアンス推進				
活動実績				
公益内部通報の事案について、調査を行い、市長及び通報者に対して調査結果の報告を行った。また、不当要求行為について、コンプライアンス審査会に対して報告を行った。				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	878	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容
		近年、不当要求行為が増加傾向にあることから、その対応方法について、研究を進めるとともに、吹田警察署との連携を維持する。		継続

上記以外の予算事業

※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名